

地方議会改革、自らの手で

市議ら勉強会

北川元三重知事が協力



北川正恭・早大大学院教授（左から3人目）のアドバイスを受けながら討議する県内の市議ら＝静岡市葵区追手町

県内の市議らが参加して住民に必要とされるような地方議会への改革を考える勉強会が24日夜、静岡市内で開かれた。元三重県知事の北川正恭・早大大学院教

授が基調講演し、河原崎聖・島田市議会議長と西原明美・藤枝市議会議長が活性化特別委員長が先進事例を報告した。

全国の地方議員有志でつ

くるローカル・マニフェスト推進地方議員連盟が主催し、北川教授が所長を務める早大マニフェスト研究所が協力。静岡、富士、磐田、掛川、沼津などから20人を超える超党派の市議らが参加した。

基調講演で北川教授は、参加者らに「議会改革、自己診断シート」を配り、総じて低得点だったことを指摘。「地方分権で議会の役割は重要になっているのに改革は進んでいない。議会から地方を変えるという決意で改革に取り組んで」とハッパをかけた。

島田市の河原崎議長は早大マニフェストの議会改革度ランキングで県内最上位（全国56位）の同市議会が、市内3地区でそれぞれ年2回以上開いている議会報告会について発表。藤枝市の西原委員長は同市議会が予算、決算の両特別委員会を設置して事業評価を進めることで、執行部との間に良い緊張関係が生まれていると報告した。

この後、参加者は4、5

人の小グループに分かれて議会改革について討議。「自分がすぐになすべきこと」として、「議会基本条例制定に向けて努力する」「会派を超えた勉強会を設ける」「議会事務局に人材を確保する」「議員提案の条例を増やす」などの結論を発表した。

勉強会後、北川教授は「来春には統一地方選もある。こうした会を『気づき』の機会とし、地方議会の改革を進めて住民の不要論を払拭し、（首長との）二元代表の一翼をしっかりと担ってほしい」と話した。

議会改革取り組み市町議員らが学ぶ

葵区で研修会

議会改革を目指す県内の市町議員らの研修会「約束から成果へあなたの地域から日本を変える」が二十四日、静岡市葵区の県産業経済会館で開かれ、島田、藤枝両市議会の取り組みの発表と意見

H26年10月25日 中日新聞

交換があった。

地方議員の不祥事から四十事業を選び、重点的にチェックしている地方議会のありかたを議論しようと、全国の約五百議員でつくる「ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟」が主催。早稲田大マニフェスト研究所が協力した。静岡、掛川などの市議ら二十三人が参加した。

同研究所の全国議会改革度調査で県内一位になった島田市議会の河原崎議長が、二〇〇八年から市内各地区で実施している議会報告会の状況を報告。

「市民に議会が必要だと思ってもらえるよう、さまざまな取り組みが大切だ」と訴えた。

藤枝市議会の西原明美・議会活性化特別委員長は、決算特別委

委員が市の千百事業から四十事業を選び、重点的にチェックしていることを説明。「審査を通じて、議員個人のレベルアップにもつながっている」と手応えを語った。

（今井智文）